

## 第24回 神戸市中央卸売市場業務運営協議会 議事要旨

### 開催日時

令和7年4月25日(金)13時～14時30分

### 開催場所

市役所1号館 14 階 大会議室

### 出席者

小野委員、西村委員、宮田委員、山本(孝)委員、樋口委員、石崎委員、海妻委員、米田委員、山田委員、杉下委員、辰己委員、須藤委員、原田委員、多田委員、東委員、吉田委員、山本(仁)委員、村上委員、木村委員(出席委員19名)

### 議題

- ① 会長の選任について
- ② 会長代理(副会長)の指名について
- ③ 神戸市中央卸売市場(本場、東部市場及び西部市場)の取扱高の推移について
- ④ 前期専門部会の報告について
- ⑤ 今期専門部会の設置について
- ⑥ その他

### 議事要旨

議題① 小野委員を会長とすることに全会一致

議題② 会長より西村委員を副会長に指名

議題③ 事務局より説明

(会長)

キャベツをはじめとする野菜の価格が一時高騰したが、この野菜や果実の動きに関して委員のご意見を伺いたい。

(委員)

産地の状況について、農家の後継者不足があり、また、農家にとって生産コストも上がっており、輸送のコストも上がっている。近年の異常気象も大きな問題である。

卸売市場はこうした中でも安定的に農産物を消費者に供給していかなければならない。今後も卸売業者と仲卸業者が連携し、消費者への安定供給に向けて取り組んでいく。

(会長)

短期的に見れば、青果や水産の取扱量は少し減っているといった程度だが、中長期的に見れば、年数%の減少が積み重なって大きな減少となっている。

市民の方をはじめとした消費者への安定供給のためには、取扱数量の維持・回復に向けた取り組みが重要である。

(委員)

この資料では、水産の取扱数量が大幅に減少しているが、この数量は卸売業者の取扱数量で、もちろん市場経営の面からは大事であるが、仲卸業者を通じて市民に届く流通の実情などが示されていない。市民への流通の実情や仲卸業者の役割などをわかりやすく示すような改善をしていただきたい。

人口減少や高齢化で食料品の需要が減っており、難しいところがあるが、市民の食は基本として神戸市場から供給できるよう、官民挙げて活動していければと思う。

(会長)

数字の背後にある経済全体や商品の動き、その中での事業者の取り組みも含め、委員に伝わるようにできればと思うので、事務局においては無理のない範囲で補足できるような点があれば、次回以降の会議資料に反映していただければと思う。

(事務局)

ご指摘のとおり取扱数量の減は、取り巻く状況など様々な要素が関わっていると思っている。いろいろな目線で見ることができるよう資料の作成に努めたい。

(会長)

市場の取扱数量の減少には、人口減少や一人当たりの消費量の低下といった全国的な傾向によるものがあり、業者の努力だけでは対応が難しい側面があることは補足しておきたい。

#### 議題④ 事務局より説明

(会長)

本場の資料にある、飲食店向けの市場見学・商談会などについて、こういった取り組みは新たな買出人の開拓にとって重要であると思うが、今後も定期的に継続して取り組んでいくのか。

また、新たに買い出しを検討する事業者が現れたかどうかを含め、商談会などの成果について教えていただきたい。

(事務局)

商談会では複数のマッチングが行われ、ハローワークを通じた雇用促進でも複数の就労があり、一定の成果が得られた。商談会では市場での買い出しが可能であることを知らなかった参加者も多く、好評を得た。これらの取り組みは次年度以降も継続することを考えている。

(会長)

東部市場では大学連携などの取り組みを進めているが、市民向けのイベントや大学連携の広がりについてどう捉えているのか。

(事務局)

東部市場では市場開放イベントを継続的に実施しており、年々集客も増えてきている。その中で、例えば高校のボランティア同好会の学生に参加いただき、模擬せりや販売の手伝いをしてもらったりしている。若い人に参加いただくことで、若い人に市場の役割を伝える機会にもなっており、さらに、市民の方々にも市場の存在を知っていただく機会になっていると感じている。

(会長)

卸売市場は市民からなかなか存在が見えにくく、市民の方々に様々な機会を通じて、卸売市場について知っていただき、理解を深めていただくことは大事である。

(委員)

地域のイベントとして、定期的に卸売市場へのツアーを行っており、参加者から好評である。市場を体験できる企画として、年3回程度、開催したいと思っている。

(会長)

飲食店などの事業者の中には、卸売市場で仕入れることができることを知らない方も意外と多い。そういう意味で、市民の方々だけでなく、飲食・小売業者の方々にも卸売市場を知ってもらい、取引をしていただけるようにすることも大事である。

(委員)

市民の方々が市場に来られることはいいことだが、市場内には「小売り行為禁止」の掲示がある。小売業者の方々からすると好ましくないところもあるのではないかと。

(事務局)

市場開放の行事は、卸売市場の役割や、取り扱っているものを市民に知ってもらうことを目的としており、小売行為自体を目的としたものではない。食料品の流通の中で、卸売市場が市民の方々の食生活を支えていることをPRする目的で実施することが大事であると考えている。

(会長)

卸売市場での市民向けの販売は、限定的なものになると思う。

ほかにはいかがでしょう。

(事務局)

それぞれの市場の取り組みを説明させていただいたが、やはり取扱量を増やしていくことが市場の活性化につながると考えている。三宮周辺ではまちづくりが進み、新しいホテルの建設も予定され、観光客も増えている。卸売市場としてもそういった情報をしっかりと収集し、できるだけ卸売市場を通じて必要な生鮮食料品を仕入れていただくことが重要と考えている。

(会長)

新たなチャンスが生まれている中で、それをいかにビジネスとして掴めるかは大切である。市と事業者が連携し、こうした機会を確実に捉える取り組みを進めていただきたい。

## 議題⑤

(会長)

本場の「新たな本場の目標について」や東部市場の「経営展望計画」は、今後も取り組んでいくことから、本場および東部市場では専門部会を引き続き設置し、さらに取り組みを進め、その成果も専門部会で取りまとめていくのがいいと考えているが、いかがか。

西部市場については、専門部会は設置せず、引き続き卸売業者を中心に売買参加者や小売業者との意見交換を通じて取り組みを進めていただくようにしてはどうかと思うが、いかがか。

○各委員より意見なし。

(会長)

それでは、引き続き今期も本場と東部市場に専門部会を設置することとする。

専門部会の部会長は、会長が指名することになっている。本場については現在、会長が専門部会長を務めているため、引き続き部会長を務めさせていただければと思っている。

東部市場についても、引き続き、副会長に部会長をお願いしたいと考えている。

(副会長)

了承。

(会長)

副部会長については各部会長に一任したいと考えるので、各部会長のほうで検討をお願いする。専門部会の開催については、今後、事務局で調整いただくようお願いする。

その他何かご意見はありますか。

○各委員より意見なし。

(以上)